年　　組　名前：

昭和町教委 下校前倒しの効果調査
2学期「スムーズ」9割超

峡中

戸松　優
皆川　陽登

昭和町教委は、小中学校で夏休み明けの始業式後の3日間の下校時間を早める「ゆるやかスタートIN昭和（ゆるスタ）」の効果について、児童生徒と教職員、保護者を対象に行ったアンケート結果をまとめた。スムーズに2学期のスタートを切る目的を達成できたとする回答が9割を超えた。

9月上旬に町内4小中学校の児童生徒と保護者、教職員に協力を求め、約1500人が回答した。「子どもの不安な気持ちや気の重さを取り除く効果があった」と回答した教職員は96・4％に上り、保護者からは「新学期前は学校に行きたくないと言っていたが『午前中だから頑張る』と言ってスムーズに生活リズムになじめた」などの記述があった。

一方、夏休み明け直後の児童生徒の出席率は昨年と同水準で、中学生からは「学園祭の準備時間を確保したい」との声も上がった。町教委学校教育課担当者は「登校できない子どもには別のアプローチも必要。子どもたちの声を反映しながら、来年度以降も取り組みを継続したい」としている。〈戸松優〉

（2026 年 11 月 5 日付 山梨日日新聞 14 面）

問1 「ゆるやかスタートIN昭和(ゆるスタ)」とは、どのような取り組みですか。

問2 教職員へのアンケートで、96.4%が「効果があった」と回答した具体的な理由を答えてください。

問3 中学生からは、どのような意見がありましたか。

問3 あなたは、この取り組みについて、どう考えますか。自由に答えてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.